

---

# 夢恋

kamall

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

夢恋

### 【Nコード】

N4952E

### 【作者名】

k a m a l l

### 【あらすじ】

9月・・・クラスに女の子が転校してきた。

1：

ああ、俺のこの恋はいつ終わりが来るのだろうか・・・

中2の2学期9月

俺はアイツに出会った。まるで雷が落ちたようだった。

「なあ、翔太！今日転校生来るらしいよ！！超楽しみじゃね？」

「うそ！マジで？男？女？」

「女だってさ！」

なんだ女か・・・正直ちょっとがっかり。

「何だ女か。興味ねえー」

「そっか。そっかいや翔太は渡辺一筋だもんな（笑）」

「うるせー」

この時はまだ気付いてなかったんだ。俺があんなに惚れるやつが現れるなんて。

「おい席つけ2分前だぞ！」  
いつもの担任の声が聞こえる。

「まあ皆知ってると思うが今日は転校生を紹介する。おい高城入れ！」

「はい・・・」

小さな声共に色の白い女の子が入ってきた。・・・顔は結構可愛い。ちよつと猫目な感じ？

「よし。じゃあ軽く自己紹介してくれ」

「はい・・・えつと東中から来ました高城花菜です。よろしくお願ひします。」

俺は一番前の席だったから珍しさも手伝ってついガン見していた。  
・とゆうか目が離せなかった

「じゃあ中山の隣に座ってくれ」

なぜか俺はがっかりしていた。そして中山をちよつと羨ましくおもった

横から話声が聞こえる。

「えゝ超可愛い！！てか顔ちっさ！！」

「でも性格悪そうじゃん？」

「分かるゝいかにもだよね！！」

はあ？女子って自分より可愛い子みると絶対悪口言つよな。  
人の事言う前に自分を何とかしろってんだよ

そして休み時間

「花菜ちゃん！！」女子がいつきに話掛ける。当の本人はちよつと

困ってる様子だ。でも何か可愛い……って俺何考えてんだよキモッ

「翔太くお前さっきからずっと高城のこと見てんな」

「え？、まじで？超無意識なんだけど」

「もしかして惚れた？」

「かも……な」

俺の予想外の返答にびっくりしたのが大親友、智幸が目を見開いている。

「えッ？渡辺はどうすんの？皆翔太のために応援してるのに？」

「うんだから皆には内緒。」

この時素直に皆に伝えてたらこんなに辛くなかったかもしれないな・  
・

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4952e/>

---

夢恋

2010年10月28日07時40分発行